

## 部長会議付議事案書（報告）

（令和3年1月5日）

提案課名 経営総務課

報告者名 志村 高史

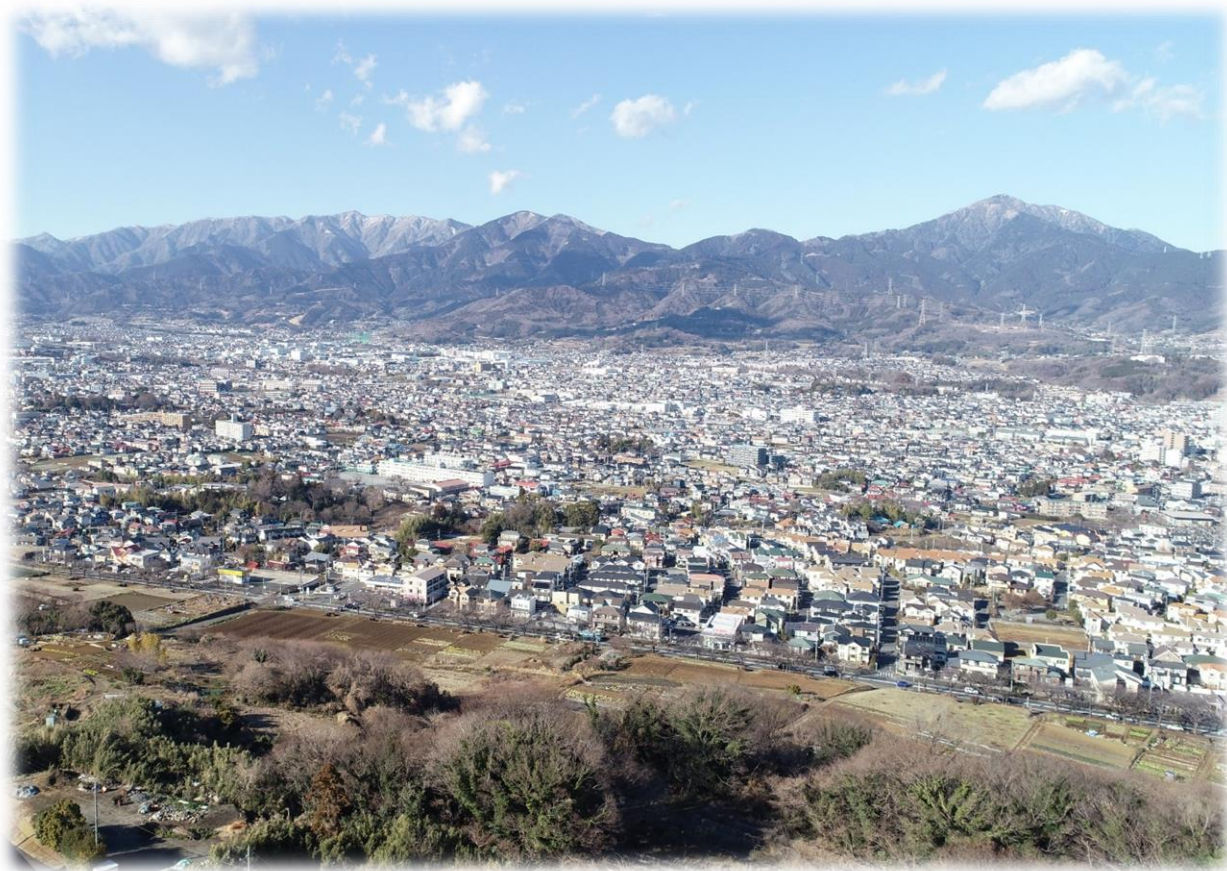
事案名	はだの上下水道ビジョン案について	<input checked="" type="checkbox"/> 有 資料 無
提案趣旨	<p>平成21年度に「はだの水道ビジョン」、平成22年度に「秦野市下水道中期ビジョン」をそれぞれ策定し、将来予測に基づいた事業経営を進め、健全経営の維持に努めてきましたが、両ビジョンは本年度末に計画年限を迎えます。</p> <p>両ビジョンの策定以降、本格的な人口減少社会が到来するとともに、局地的な豪雨や大地震などの自然災害が増加するなど、社会経済情勢が大きく変化し、事業経営を取り巻く環境にも大きな影響を与えています。また、高度経済成長時代を中心に整備された施設は老朽化が進み、計画的な施設の更新や統廃合を進めなければなりません。</p> <p>そこで、今後も厳しさを増す事業環境の中で、両ビジョンの成果を評価・検証するとともに、国や県が示している取組みの方向性なども踏まえ、令和3年度からの上下水道事業経営のあるべき姿とともに、具体的な行動である事業計画を示す「はだの上下水道ビジョン案」を策定しましたので、報告するものです。</p>	
概要	<p>1 計画期間 令和3年度から令和12年度までの10か年</p> <p>2 計画の構成</p> <p>I 基礎編</p> <p>第1章 上下水道ビジョンとは</p> <p>第2章 秦野市の歴史・地理的特性と上下水道</p> <p>第3章 上下水道事業の概要</p> <p>第4章 基本理念</p> <p>II 水道事業編－基本施策と事業計画</p> <p>III 公共下水道事業編－基本施策と事業計画</p> <p>IV 資料編</p>	

経過	1	計画策定に向けた上下水道審議会での協議	
		令和元年12月20日	令和元年度 秦野市上下水道審議会・第1回水道部会
		令和2年 1月 8日	令和元年度 秦野市上下水道審議会・第1回下水道部会
		〃 1月16日	令和元年度 第4回秦野市上下水道審議会
		〃 5月29日	令和2年度 第1回秦野市上下水道審議会
		〃 7月 6日	令和2年度 秦野市上下水道審議会・第1回下水道部会
		〃 7月16日	令和2年度 秦野市上下水道審議会・第1回水道部会
		〃 8月27日	令和2年度 第2回秦野市上下水道審議会
		〃 10月12日	令和2年度 秦野市上下水道審議会・第2回水道部会
		〃 10月22日	令和2年度 秦野市上下水道審議会・第2回下水道部会
		〃 11月17日	令和2年度 第3回秦野市上下水道審議会
		〃 12月17日	令和2年度 第4回秦野市上下水道審議会
		2	庁内意見照会 令和2年12月15日～12月28日
今後の進め方	1	令和3年 1月15日	議員連絡会への報告（意見聴取は令和3年3月10日まで）
	2	〃 2月 1日	パブリック・コメントの実施（広報はだの2月1日号掲載、意見募集は令和3年3月3日まで）
	3	〃 3月	計画策定 総務省に計画を「経営戦略」として提出

# はだの上下水道ビジョン

— 桑野の上下水道の「今まで」と「これから」 —

ダイジェスト版



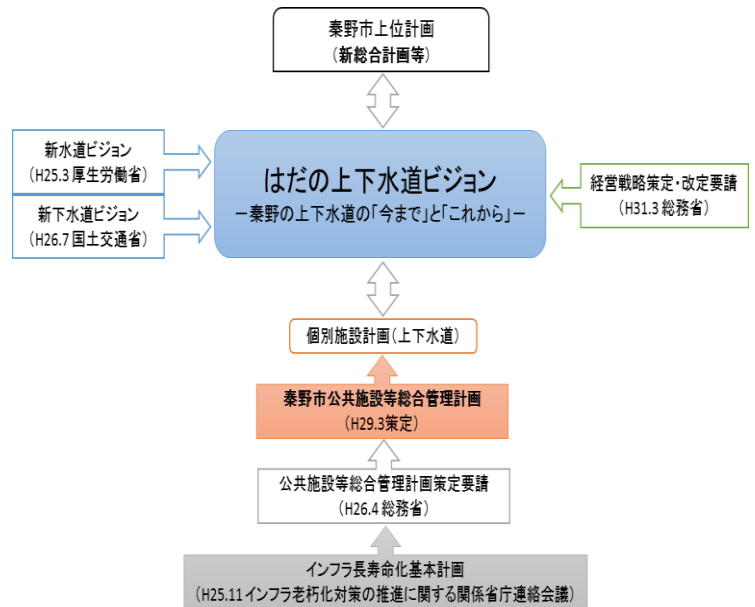


# I 基礎編 第1章 上下水道ビジョンとは

## 1 ビジョンの役割と位置づけ

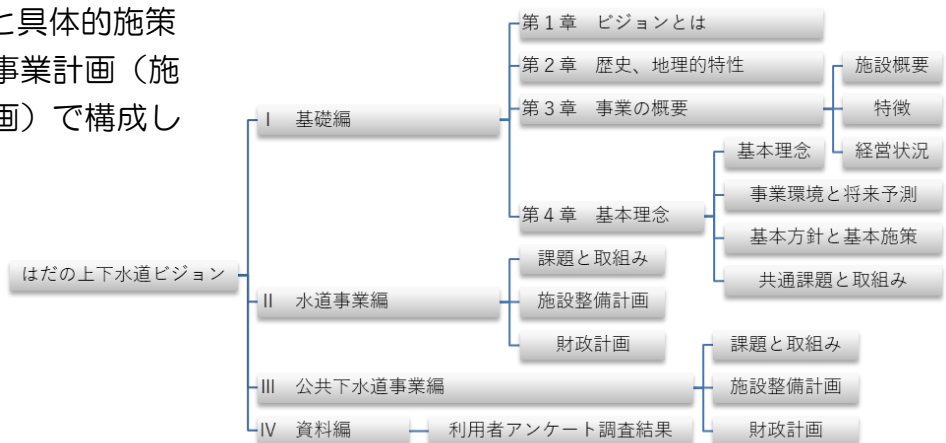
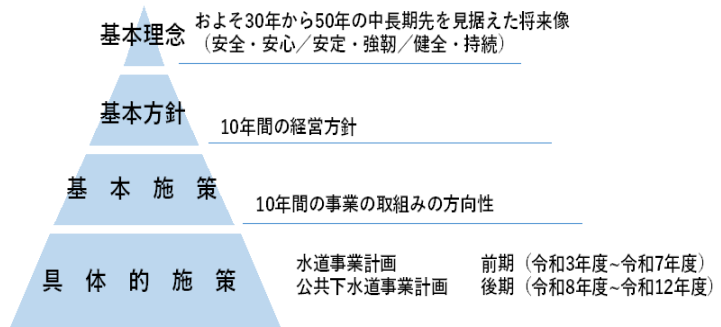
本市の上下水道事業は、これまでの拡張整備を前提とした時代から、維持管理や施設更新等が中心となる成熟期を迎えています。

今後は、施設の老朽化が進み、維持管理費用が増加することが見込まれ、多額の更新投資が必要となります。しかしながら、人口減少が進んでいることに加え、家庭でも企業でも節水型の機器が普及し、今後の水需要は減少するなど、事業の経営環境は厳しさを増していくことが見込まれています。そのため、「はだの上下水道ビジョン」は、中長期先を見据えた経営の理念や取組みの方向性を示すとともに、関連する国・県や本市の計画と連動した施設整備及び財源の均衡した具体的施策を含む、上下水道事業の基盤を強化・安定させるための総合的な計画として位置づけるものです。



## 2 ビジョンの構成と期間

「はだの上下水道ビジョン」は、中長期先を見据え、実現を目指すべき将来像を示す「基本理念」のもと、令和3(2021)年度から12(2030)年度までの10年間の経営方針を示す「基本方針」に基づき、上下水道事業の取組みの方向性を示す基本施策と具体的施策や事業内容を示した事業計画（施設整備計画・財政計画）で構成します。



## I 基礎編 第4章 基本理念

### 1 基本理念

本市の上下水道事業は、「秦野名水」を主要な水道資源としていることに加え、自然環境、生活環境の維持向上に寄与しています。

そこで、次のとおり上下水道ビジョンの基本理念を定めます。

『おいしい秦野の水と 清らかに輝く名水の里 ひきつごう いつまでも』

本ビジョンは、この基本理念に基づき、取組みの内容を整理し、①安全・安心、②安定・強靱、③健全・持続、の3つの視点から上下水道事業の進展を目指します。

### 2 基本方針

本ビジョンにおける計画期間は、「経営基盤の強化」の期間として位置づけ、次の4つを経営の基本方針とします。

- 基本方針① 安全でおいしい水道水の供給、  
安定した汚水処理と浸水対策のさらなる推進
- 基本方針② 適切な資産管理と施設維持の強化
- 基本方針③ 災害に強い施設や体制の構築
- 基本方針④ 健全経営のための基盤の強化

### 3 計画の前提となる事業環境と将来予測

本市の上下水道事業の経営に与える影響は、創設から現在までの間は、老朽化に伴う大規模な施設更新や再構築、これらに要する財源確保などの内部環境の変化が主でした。

しかし、近年では、人口減少社会の到来による料金収入の減少、大地震や豪雨災害の発生による対策の強化、市民の上下水道に求める要求水準の高まりなど、こうした外部環境の変化による課題が顕在化してきました。

さらには、専門的知識を持つ熟練職員の退職や人事異動などによる職員間での人材育成や技術継承の問題など、上下水道事業を取り巻く環境は厳しい状況にあります。

これらを踏まえ、基本理念のもと中長期にわたって経営の健全性を持続し、上下水道事業の基盤を強化するうえで、計画の前提として考慮すべき事業環境と将来予測を、4点に整理して示します。

#### 事業環境と将来予測

1 更新需要増大への対応

2 非常時の備えの強化

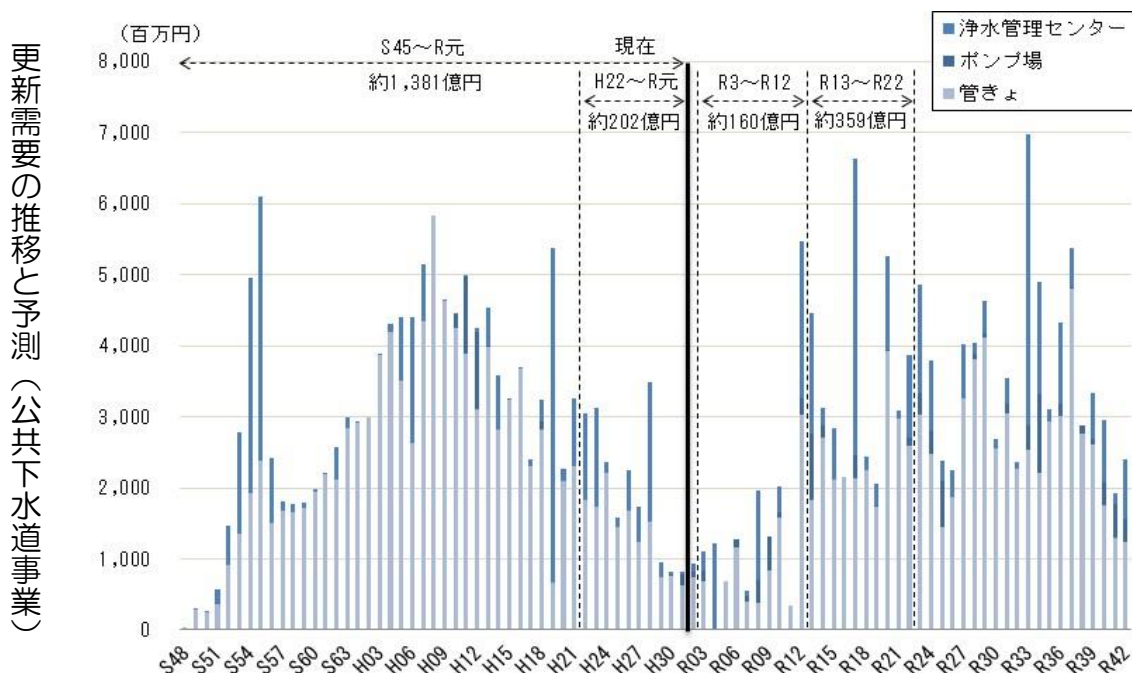
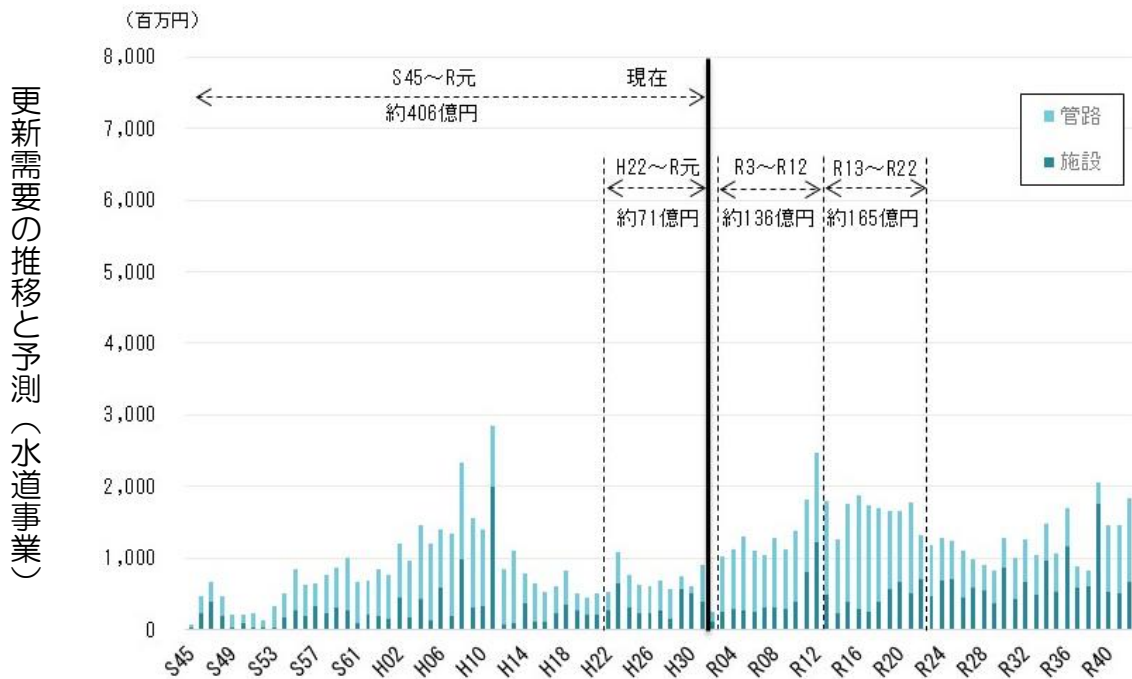
3 有収水量減少への対応

4 経営の健全化に向けた対応

### (1) 更新需要増大への対応

水道事業は、昭和 45(1970)年に創設事業による投資を行い、人口の増加に合わせて平成 10(1998)年前後までに集中して拡張整備を行ってきました。そのため、現状の資産を法定耐用年数どおりに更新すると仮定した場合、建設投資の 50 年から 60 年後の令和 10(2028)年度以降に更新のピークを迎えます。

公共下水道事業の管きょは、昭和 50 年代後半から平成 10 年代後半が建設のピークであり、令和 12(2030)年度以降に更新のピークを迎え、浄水管理センターやポンプ場については、令和 8(2026)年度以降に更新需要が高まると想定しています。



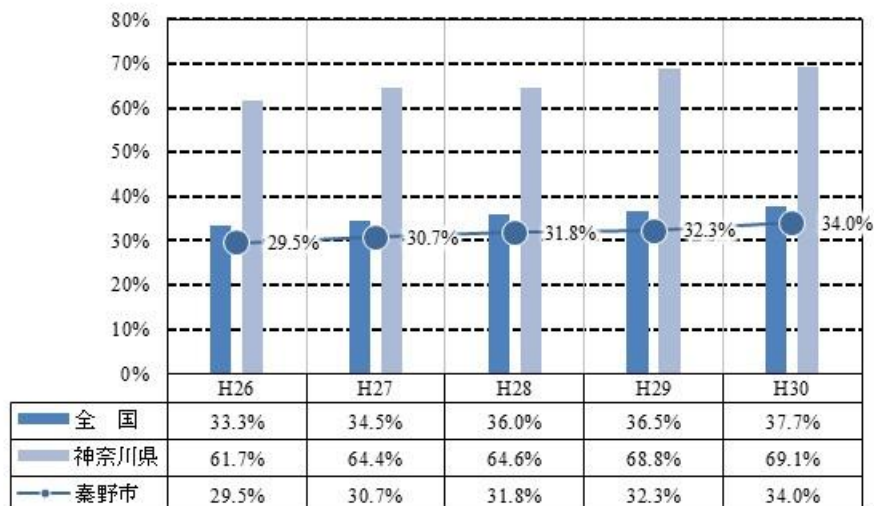
## (2) 非常時の備えの強化

水道事業では、基幹管路（導・送水管）の耐震化適合率は、平成 30(2018)年度末時点で 34.0%であり、全国や神奈川県と比べて、耐震化が遅れている状況です。

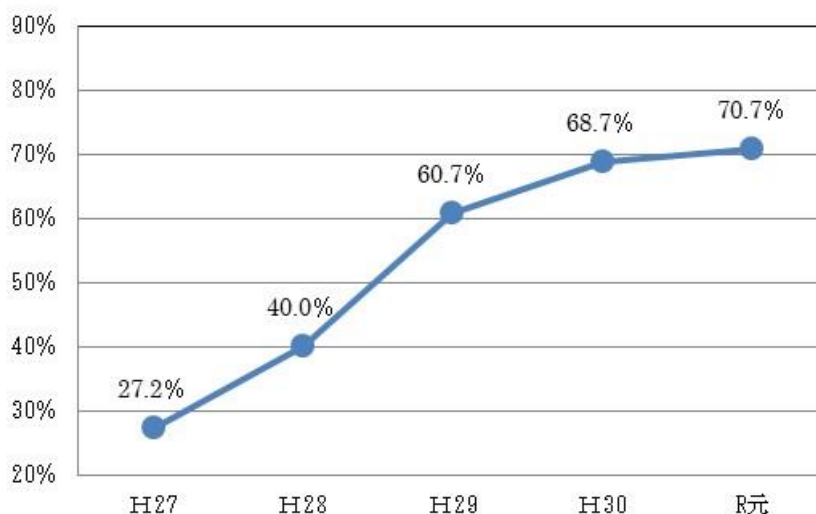
公共下水道事業では、平成 25(2013)年度に策定した「秦野市下水道総合地震対策計画」に位置づけた「処理場やポンプ場に直結する管きょ」や「軌道横断管きょ」、「防災拠点や避難所からの排水管きょ」などの重要な管きょの耐震化率は令和元(2019)年度末時点で 70.7%となっています。

このような中、本市に大きな被害をもたらすことが予想される大規模地震に対応するため、施設の耐震化の向上は最優先で取り組む必要があります。

基幹管路の耐震化適合率の推移（水道事業）



重要な汚水管きょの耐震化率の推移（公共下水道事業）



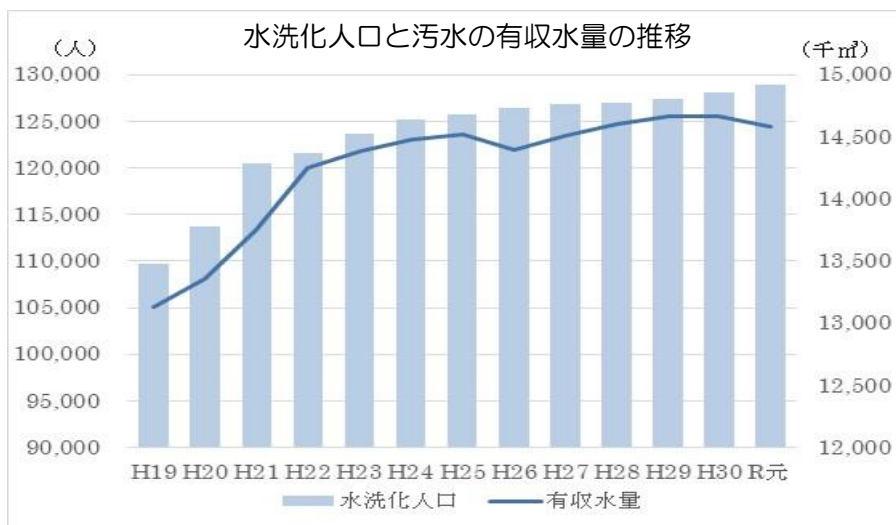
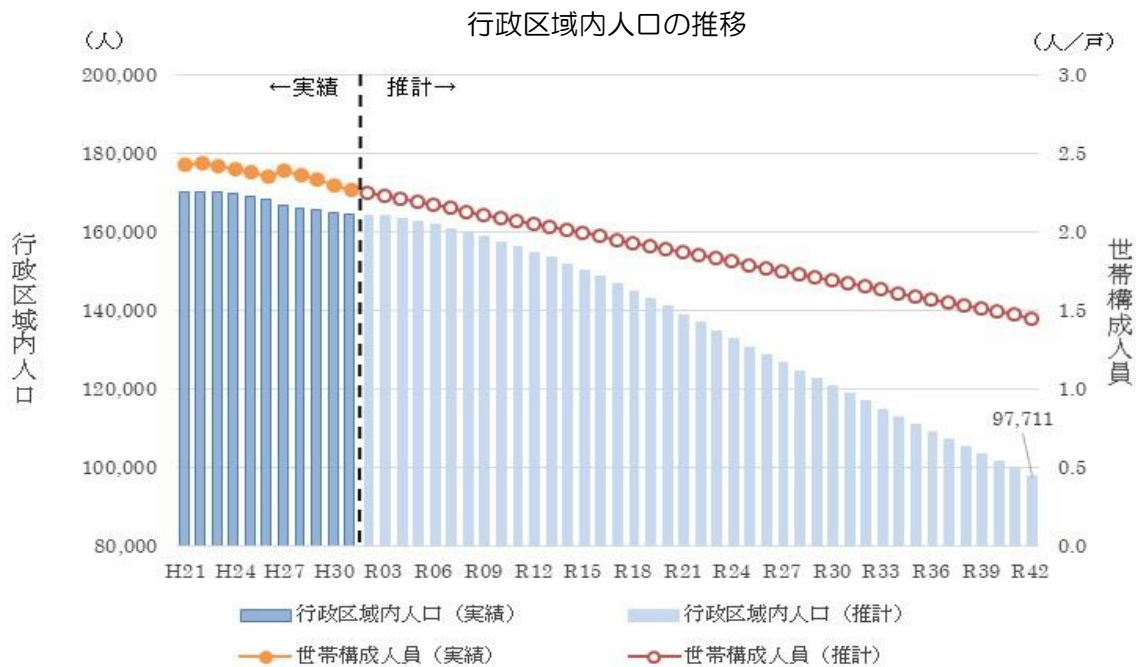


### (3) 有収水量減少への対応

本市の行政区域内人口の10年間の推移を見ると、平成24(2012)年度以降、減少に転じています。今後も行政区域内人口の減少傾向は変わらず、令和42(2060)年にはおよそ97,711人と見込まれます。

本市の水道普及率は99.88%であり、水道の有収水量のおよそ8割は家事用であることから、今後も人口減少が続くことにより、有収水量も減少していくことが見込まれます。

また、汚水の有収水量については、下水道の整備や普及促進により水洗化人口が増加していることから、人口減少分と相殺されてほぼ横ばいの推移となっているものの、普及が一段落したところで、減少に転じていくこととなります。



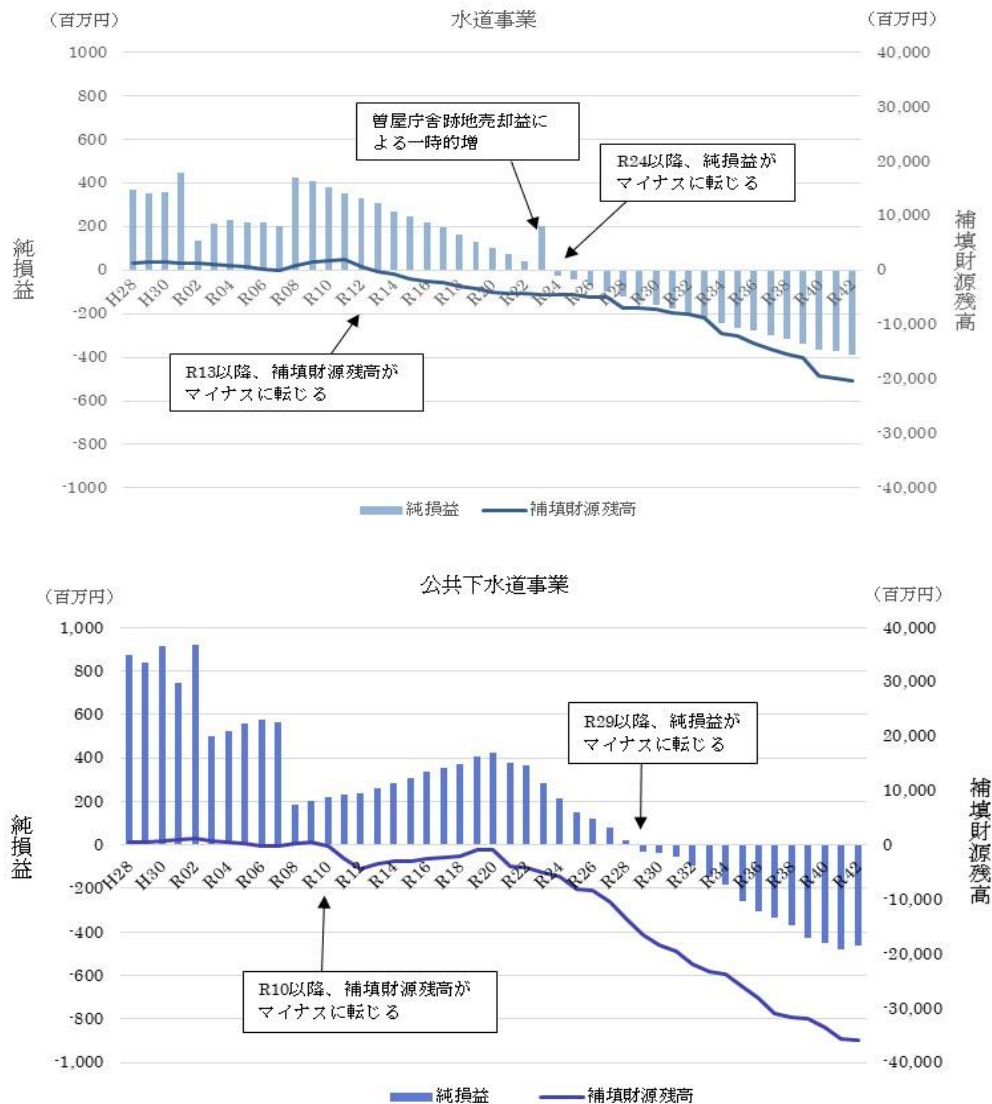
#### (4) 経営の健全化に向けた対応

人口減少や節水機器の普及などによる水需要の低下により、水道料金や下水道使用料が減収している状況の中で、老朽化した施設の更新や耐震化の取組みが必要なことから、健全な経営を持続するためには、的確な財政計画に基づいた安定的な財源の確保が必要となります。

仮に現行の料金体系で試算した場合、水道事業は、令和 13(2031)年度以降、補填財源残高がマイナスに転じ、令和 24(2042)年度以降には純損益もマイナスに転じる見込みです。そして、令和 42(2060)年度には、補填財源残高が約△203 億円、純損益は約△4 億円となると予測しています。

公共下水道事業は、令和 10(2028)年度以降、補填財源残高がマイナスに転じ、令和 29(2047)年度以降には純損益もマイナスに転じる見込みです。令和 42(2060)年度には、補填財源残高が約△360 億円、純損益は約△5 億円となると予測しています。

純損益及び補填財源残高の予測イメージ



#### 4 基本施策

4つの基本方針に基づく基本施策と主な取組みは、次のとおりです。

これらの取組みの進捗状況や事業環境の変化に迅速かつ適切に対応するため、5年を目安として、PDCAサイクルにより、取組みの成果や効果について検証し、必要に応じて内容の見直しや改善に努めます。

	基本施策	主な取組み	取組みの視点		
			安全・安心	安定・強靱	健全・持続
基本方針①	①-1 水源の確保	水道水源への更なる取組み	◎	○	○
		県水の負担軽減	◎		
	①-2 水質管理の強化	水質管理の強化	◎	○	
		水質検査の信頼性向上	◎		
		集中監視体制の強化	◎		
	①-3 安定した 汚水処理の維持	汚水処理区域の整備	◎		
		下水汚泥の有効活用	◎	○	○
①-4 効果的な 浸水対策の推進	効果的な浸水対策の推進	◎	○		
基本方針②	②-1 維持管理の強化	管路の予防保全型管理の推進		◎	○
		施設の予防保全型管理の推進		◎	○
	②-2 効率的な 施設整備	計画的な管路の更新と整備		◎	○
		計画的な施設の更新と整備		◎	○
基本方針③	③-1 耐震化の推進	管路の耐震化		◎	
		施設の耐震化		◎	
	③-2 災害対策の充実	非常時に備えた設備や体制の充実	○	◎	
		相互支援体制の構築	○	◎	
	マニュアルの整備と活用	○	◎		
基本方針④	④-1 経営の健全化	経営の健全化		○	◎
		水洗化の普及促進		○	◎
	④-2 サービスの向上	料金納付の利便性の向上			◎
		親しみのある上下水道事業の推進			◎
	④-3 技術継承と 業務の効率化	組織体制の強化と委託化の推進			◎
		経費の削減			◎

※ ◎：中心となる取組みの視点 ○：関連する取組みの視点

## II 水道事業編－基本施策と事業計画－

### 1 事業計画

#### (1) 施設整備計画

##### ア 基本施策と主な取組み

基本施策	事業名	主な取組み	取組み時期
①-1 水源の確保	第5次拡張事業	芹沢取水場の更新	R3～4年度
②-2 効率的な施設整備	管路耐震化・更新事業	本町第5取水場の更新	R4～6年度
		機械・電気設備等の更新	R3～12年度
		寺山配水場の更新	R4～7年度
		施設の統廃合	R8～12年度
		八幡山配水場廃止に伴う管路整備	R4～12年度
③-1 耐震化の推進	施設耐震化・更新事業	基幹管路（導・送水管）の耐震化	R3～12年度
		配水管路の耐震化	
		幹線管路の耐震化	R3～9年度
		配水場の耐震化	R4～11年度
③-2 災害対策の充実	災害対策整備事業	給水車給水拠点の整備	R3～4年度
		非常用自家発電設備の整備	R3～12年度

##### イ 年度別事業計画表

別紙図表 1-1 のとおり

#### (2) 財政計画

「はだの上下水道ビジョン」の基本施策や「施設整備計画」を計画的に実現するため、財政計画における経営方針等は次のとおりとします。

##### ア 経営方針

- ① プライマリーバランスの確保など健全経営を推進し、経営基盤の強化を着実に進める。
- ② 管路や施設の更新・耐震化を推進し、安全安心な水の供給に対し、経営資源を適切に投入する。
- ③ 健全経営を進めるために公営企業として企業努力に努め、料金改定に係る市民への負担を最小限のものとする。

##### イ 経営方針に基づく経営の基本事項

###### ① 料金改定の延期

新型コロナウイルス感染症の影響による市民生活等の回復を2年間(令和3(2021)～4(2022)年度)と見込み、令和5(2023)年度に7%引上げ、令和9(2027)年度に6%引上げの料金改定を行う。

- ② 単年度純利益の確保
- ③ 補填財源残高（内部留保資金）の確保
- ④ プライマリーバランスの確保と企業債残高の縮減  
計画期間前期は単年度プライマリーバランスの確保、後期は借入上限額 4 億円以下

## ウ 目標値

	目標事項	目標値	目標値		
			令和元年度末	令和 8 年度末	令和 12 年度末
①	料金回収率	料金改定以降 毎年度末：100%以上	99.3%	100%以上	100%以上
②	総収支比率	毎年度末：100%以上	108.4%	100%以上	100%以上
③	補填財源残高	8 億円以上維持。令和 12 年度末：12 億円	15 億 6,800 万円	8 億 2,300 万円	12 億 9,600 万円
④	水道事業基金	令和 4 年度末：5 億円。 目的到達後は同額を維持	4 億 8,000 万円	5 億円	5 億円
⑤	企業債残高	令和 12 年度末：53 億 2,000 万円	69 億 8,400 万円	68 億 9,300 万円	53 億 2,000 万円

## エ 企業努力

	企業努力策	内容	効果額
①	施設の統廃合	菖蒲水系等の統廃合	△500 万円
②	遊休地の利活用	旧普屋庁舎跡地の賃貸	+1 億 4,000 万円
③	公民連携の推進	管路 DB 方式の導入	△750 万円
④	県補助金の不採用	補助金採用：企業債残高 72 億円 補助金不採用：企業債残高 52 億円	△20 億円
⑤	企業債借入れ条件等 の見直し	元金据置期間の見直し	△1 億円
⑥	その他		
	広域化・共同化	施設の共同設置・共同利用等の検討	—
	新技術導入	ICT の活用に対する調査・研究	—
	漏水対策	給水管の漏水修繕に伴う無収水量の抑制	—
	未収金解消	包括委託の継続及び支払い方法の拡充等の検討	—

## オ 財政計画表

別紙図表 1-2 のとおり



図表 1-1 年度別事業計画表

(事業費：百万円)

計画	前期計画期間										前期計		後期計画期間										後期計		10箇年計			
	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度				令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度		令和12年度							
	区分	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費			
1	管路耐震化・更新事業	1,129.0m	400.6	2,184.0m	584.5	2,452.0m	615.9	2,214.0m	973.4	1,901.0m	955.4	9,880.0m	3,529.8	1,819.0m	1,095.1	3,065.0m	520.9	1,880.0m	308.3	2,805.0m	435.6	2,238.0m	377.3	11,807.0m	2,737.2	21,687.0m	6,267.0	
	1 基幹管路	480.0m	95.7	250.0m	31.2	460.0m	51.9	444.0m	83.3	300.0m	45.4	1,934.0m	307.5	300.0m	52.4	830.0m	117.0	880.0m	145.3	1,475.0m	235.7	1,438.0m	214.7	4,923.0m	765.1	6,857.0m	1,072.6	
	1 導水管（耐震化）	340.0m	73.3	250.0m	31.2	460.0m	51.9	444.0m	83.3	300.0m	45.4	1,794.0m	285.1	300.0m	45.4	300.0m	45.4	300.0m	50.4	725.0m	103.7	668.0m	91.5	2,293.0m	336.4	4,087.0m	621.5	
	1 導水管（統廃合）													7.0	530.0m	71.6	580.0m	94.9	750.0m	132.0	770.0m	123.2	2,630.0m	428.7	2,630.0m	428.7		
	2 送水管	140.0m	22.4									140.0m	22.4													140.0m	22.4	
	2 幹線管路	389.0m	177.5	674.0m	368.5	732.0m	379.2	1,070.0m	773.1	901.0m	791.0	3,766.0m	2,489.3	594.0m	896.5	1,180.0m	231.5								1,774.0m	1,128.0	5,540.0m	3,617.3
	1 送水管	389.0m	177.5	674.0m	328.5	732.0m	354.2	1,070.0m	509.1	901.0m	305.5	3,766.0m	1,674.8	594.0m	260.5	1,180.0m	231.5								1,774.0m	492.0	5,540.0m	2,166.8
	2 中継ポンプ場				40.0		25.0				485.5		814.5													636.0		1,450.5
	3 配水管路	260.0m	127.4	1,260.0m	184.8	1,260.0m	184.8	700.0m	117.0	700.0m	119.0	4,180.0m	733.0	925.0m	146.2	1,055.0m	172.4	1,000.0m	163.0	1,330.0m	199.9	800.0m	162.6	5,110.0m	844.1	9,290.0m	1,577.1	
	1 配水管改良（耐震化）	260.0m	115.4	700.0m	111.0	700.0m	111.0	700.0m	111.0	700.0m	111.0	3,060.0m	559.4	700.0m	111.0	1,000.0m	154.0	1,000.0m	154.0	1,000.0m	154.0	800.0m	128.0	4,500.0m	701.0	7,560.0m	1,260.4	
1 配水管改良（統廃合）		6.0	560.0m	67.8	560.0m	67.8				2.0	1,120.0m	143.6	225.0m	29.2	55.0m	12.4		3.0	330.0m	39.9		28.6	610.0m	113.1	1,730.0m	256.7		
2 消火栓		6.0		6.0		6.0		6.0		6.0		30.0		6.0		6.0		6.0		6.0		6.0		30.0		60.0		
2	施設耐震化・更新事業		194.4		255.6		252.5		137.0		260.2		1,099.7		251.5		329.0		402.5		123.1		157.3		1,263.4		2,363.1	
	1 配水場		152.8		159.0		85.6		64.1		54.0		515.5		131.5		263.0		232.1		75.2		65.0		766.8		1,282.3	
	1 耐震化				4.0		15.0		15.0		15.0		49.0		90.0		195.0		100.0		30.0				415.0		464.0	
	2 ポンプ等設備		152.8		155.0		70.6		49.1		39.0		466.5		41.5		68.0		132.1		45.2		65.0		351.8		818.3	
	2 浄水場						33.1		20.0		134.4		187.5		20.0						10.9				30.9		218.4	
	3 送水場								7.2				7.2		64.5		40.0		7.9		20.0				132.4		139.6	
	4 取水場		41.6		96.6		133.8		45.7		71.8		389.5		35.5		26.0		162.5		17.0		92.3		333.3		722.8	
	1 ポンプ等設備		41.6		31.6		78.8		35.7		71.8		259.5		35.5		26.0		162.5		17.0		92.3		333.3		592.8	
2 その他（施設更新）				65.0		55.0		10.0				130.0														130.0		
3	第5次拡張等施設整備事業	515.0m	114.3	209.0m	69.0	149.0m	17.0	102.0m	112.0	84.0m	12.0	1,059.0m	324.3	231.0m	17.0	52.0m	2.0		2.0		2.0		2.0	283.0m	25.0	1,342.0m	349.3	
	1 管路	515.0m	49.3	209.0m	2.0	149.0m	2.0	102.0m	2.0	84.0m	2.0	1,059.0m	57.3	231.0m	17.0	52.0m	2.0		2.0		2.0		2.0	283.0m	25.0	1,342.0m	82.3	
	1 配水管拡張	515.0m	49.3	209.0m	2.0	149.0m	2.0	102.0m	2.0	84.0m	2.0	1,059.0m	57.3	231.0m	17.0	52.0m	2.0		2.0		2.0		2.0	283.0m	25.0	1,342.0m	82.3	
	2 施設		65.0		67.0		15.0		110.0		10.0		267.0														267.0	
	1 配水場				12.0		15.0		110.0		10.0		147.0														147.0	
2 取水場		65.0		55.0								120.0														120.0		
4	災害対策整備事業		15.4		112.0		67.6		6.0		68.8		269.8		5.0		8.0		8.0		6.0		3.0		30.0		299.8	
	1 給水車給水拠点整備		13.9		15.0								28.9														28.9	
	2 非常用自家発電設備整備		1.5		97.0		67.6		6.0		68.8		240.9		5.0		8.0		8.0		6.0		3.0		30.0		270.9	
計	1,644.0m	724.7	2,393.0m	1,021.1	2,601.0m	953.0	2,316.0m	1,228.4	1,985.0m	1,296.4	10,939.0m	5,223.6	2,050.0m	1,368.6	3,117.0m	859.9	1,880.0m	720.8	2,805.0m	566.7	2,238.0m	539.6	12,090.0m	4,055.6	23,029.0m	9,279.2		





図表 1-2 財政計画表

		前 計 画 期 間 (5年間)					前 期 財 政 計 画 期 間 (5年間)					後 期 財 政 計 画 期 間 (5年間)					単位：百万円				
		前 期 料 金 算 定 期 間 【平均改定率 0%】					中 期 料 金 算 定 期 間 【平均改定率 7%UP】					後 期 料 金 算 定 期 間 【平均改定率 6%UP】									
年 度		28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (決算)	元年度 (決算)	2年度 (決算見込)	28~2年度計	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	3~7年度計	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	8~12年度計	3~12年度計	
収益的 収支 (税抜)	収入																				
	給水収益	2,211	2,238	2,229	2,199	1,803	10,680	2,067	2,111	2,309	2,317	2,300	11,104	2,283	2,408	2,381	2,361	2,340	11,773	22,877	
	※平均改定率									7%					6%						
	【コロナによる影響】当初見込収益					2,176		2,176	2,166												
	使用水量減による影響額					△109		△109	△55												
	料金減額による影響額					△264															
	水道利用加入金	123	123	120	112	116	594	112	112	112	112	112	560	112	112	112	112	112	560	1,120	
	長期前受金戻入	211	211	206	204	198	1,030	197	191	186	183	180	937	176	176	171	166	161	850	1,787	
	その他収益	163	113	145	127	216	764	108	108	107	107	108	538	108	102	103	103	105	521	1,059	
	計(A)	2,708	2,685	2,700	2,642	2,333	13,068	2,484	2,522	2,714	2,719	2,700	13,139	2,679	2,798	2,767	2,742	2,718	13,704	26,843	
	支出																				
	管路維持管理費(計画保全)	136	174	166	194	199	869	206	206	206	206	206	1,030	230	230	230	230	230	1,150	2,180	
	施設維持管理費(計画保全) (施設統廃合による効果額)	236	257	277	267	315	1,352	274	275	276	277	279	1,381	280	281	282	284	285	1,412	2,793	
	小計	372	431	443	461	514	2,221	480	481	482	483	485	2,411	510	511	512	514	515	2,562	4,973	
受水費	487	483	481	482	487	2,420	480	480	481	480	479	2,400	479	480	478	478	478	477	2,392	4,792	
人件費	221	228	224	218	222	1,113	217	205	209	199	199	1,029	199	199	199	199	199	995	2,024		
減価償却・除却費	917	887	896	976	959	4,635	920	914	928	933	948	4,643	978	1,004	1,002	1,004	1,004	4,992	9,635		
企業債支払利息 (借入条件見直しによる効果額)	160	150	139	128	121	698	104	92	80	69	59	404	51	43	38	34	30	196	600		
その他費用	183	159	162	173	216	893	161	167	168	168	168	832	168	169	168	167	168	840	1,672		
計(B)	2,340	2,338	2,345	2,438	2,519	11,980	2,362	2,339	2,348	2,332	2,338	11,719	2,385	2,406	2,397	2,396	2,393	11,977	23,696		
純損益(A)-(B)	368	347	355	204	△186	1,088	122	183	366	387	362	1,420	294	392	370	346	325	1,727	3,147		
資本的 収支 (税込)	収入																				
	県補助金	0	0	13	13	17	43	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	企業債	318	360	194	418	455	1,745	525	549	564	574	565	2,777	500	86	0	0	0	586	3,363	
	その他収入	5	12	26	141	135	319	56	12	12	26	12	118	12	25	12	12	12	73	191	
	計(C)	323	372	233	572	607	2,107	581	561	576	600	577	2,895	512	111	12	12	12	659	3,554	
	支出																				
	建設改良費(施設整備計画)	511	622	503	976	1,059	3,671	725	1,021	953	1,228	1,296	5,223	1,369	860	721	567	540	4,057	9,280	
	【コロナによる影響】当初見込支出 執行停止額					1,267															
	△208																				
	建設改良費事務費	86	85	85	87	91	434	76	76	76	76	76	380	76	76	76	76	76	380	760	
企業債償還金	438	462	487	490	504	2,381	526	550	565	575	566	2,782	540	487	432	385	356	2,200	4,982		
基金繰入金	41	53	32	23	11	160	20	20	10	10	10	70	10	10	10	10	10	50	120		
その他支出	14	20	3	6	6	49	104	4	3	3	4	118	3	4	3	3	3	16	134		
計(D)	1,090	1,242	1,110	1,582	1,671	6,695	1,451	1,671	1,607	1,892	1,952	8,573	1,998	1,437	1,242	1,041	985	6,703	15,276		
収支不足額(C)-(D)	△767	△870	△877	△1,010	△1,064	△4,588	△870	△1,110	△1,031	△1,292	△1,375	△5,678	△1,486	△1,326	△1,230	△1,029	△973	△6,044	△11,722		
補填財源残高	1,198	1,374	1,563	1,568	1,173	-	1,212	1,100	1,262	1,218	1,090	-	823	801	841	1,050	1,296	-	-		
企業債残高	7,451	7,349	7,057	6,984	6,935	-	6,935	6,934	6,933	6,933	6,932	-	6,893	6,492	6,060	5,676	5,320	-	-		
総収支比率	115.8%	114.8%	115.1%	108.4%	92.6%	-	105.1%	107.8%	115.6%	116.6%	115.5%	-	112.3%	116.3%	115.4%	114.5%	113.6%	-	-		
料金回収率	105.0%	106.3%	105.1%	99.3%	78.0%	-	96.4%	99.2%	107.8%	108.8%	107.6%	-	104.4%	108.8%	107.7%	106.7%	105.7%	-	-		
企業債残高対給水収益比率	337.0%	328.5%	316.7%	317.7%	384.8%	-	335.5%	328.5%	300.3%	299.3%	301.4%	-	301.9%	269.7%	254.5%	240.4%	227.4%	-	-		
管路耐震化率	22.1%	22.6%	23.2%	23.9%	24.5%	-	24.7%	25.0%	25.3%	25.7%	26.0%	-	26.2%	26.6%	26.8%	27.1%	27.3%	-	-		
うち基幹管路	31.8%	32.3%	34.0%	40.0%	43.5%	-	44.9%	46.7%	48.9%	51.8%	54.1%	-	55.8%	58.6%	59.2%	60.6%	61.9%	-	-		
管路更新率	28.4%	29.2%	30.2%	31.5%	32.4%	-	32.7%	33.4%	34.1%	34.5%	34.9%	-	35.3%	36.0%	36.5%	37.2%	37.8%	-	-		
上下水道局職員数(水道事業会計)	35人	36人	38人	35人	34人	-	36人	35人	35人	35人	35人	-	35人	35人	35人	35人	35人	-	-		



### Ⅲ 公共下水道事業編—基本施策と事業計画—

#### 1 事業計画

##### (1) 施設整備計画

##### ア 基本施策と主な取組み

基本施策	事業名	主な取組み	取組み時期
①-3 安定した汚水処理の維持	管きよ整備事業	汚水枝線管きよ及び汚水ますの整備	R3～12 年度
①-4 効果的な浸水対策の推進		雨水幹線及び枝線管きよの整備	
②-2 効率的な施設整備	管きよ耐震化・更新事業	計画的な管きよ等の更新	
	施設耐震化・更新事業	浄水管理センター機械棟・水処理棟等の更新	
③-1 耐震化の推進	管きよ耐震化・更新事業	中央処理区管きよの耐震化	R3～4 年度 R6～12 年度
	施設耐震化・更新事業	浄水管理センター機械棟・水処理棟等の耐震化	

##### イ 年度別事業計画表

別紙図表 2-1 のとおり

##### (2) 財政計画

「はだの上下水道ビジョン」の基本施策や「施設整備計画」を計画的に実現するため、財政計画における経営方針等は次のとおりとします。

##### ア 経営方針

- ① プライマリーバランスの確保など健全経営を推進し、経営基盤の強化を着実に進める。
- ② 管きよや施設の更新・耐震化を推進するとともに、雨水による浸水対策を適切に実施するため、経営資源を適切に投入する。
- ③ 健全経営を進めるために公営企業として企業努力に努め、使用料改定に係る市民への負担を最小限のものとする。

##### イ 経営方針に基づく経営の基本事項

- ① 使用料改定の延期  
新型コロナウイルス感染症の影響による市民生活等の回復を2年間（令和3(2021)～4(2022)年度）と見込み、令和5(2023)年度に5%引上げ、令和9(2027)年度に5%引上げの使用料改定を行う。
- ② 単年度純利益の確保
- ③ 補填財源残高（内部留保資金）の確保

④ プライマリーバランスの確保と企業債残高の縮減

汚水事業は借入上限平均 5 億円以下、雨水事業は単年度プライマリーバランスの確保

⑤ 一般会計からの基準外繰入金の解消

ウ 目標値

	目標事項	目標値	目標値		
			令和元年度末	令和 8 年度末	令和 12 年度末
①	経費回収率	令和 5 年度改定以降 毎年度末：97%以上 令和 9 年度改定以降 毎年度末：100%以上	95.2%	100%以上	100%以上
②	総収支比率	毎年度末：100%以上	119.7%	100%以上	100%以上
③	補填財源残高	令和 8 年度末：10 億円 令和 12 年度末：21 億円	10 億 3,700 万円	12 億 800 万円	21 億円
④	公共下水道事業基金(仮称)	災害復旧費用として令和 12 年度に設立。目標額：4 億円。令和 12 年度に 3 億円積み立て	—	—	3 億円
⑤	企業債残高	令和 12 年度末：190 億 2,200 万円	310 億 8,900 万円	227 億 7,700 万円	190 億 2,200 万円
⑥	基準外繰入金	令和 9 年度末：0 円	4 億 7,300 万円	1 億円	0 円

エ 企業努力

	企業努力策	内容	効果額
①	下水道汚泥の有効活用	処分費の削減	△4 億円
②	企業債借入れ条件等の見直し	元金据置期間の見直し (令和 3 年度以降借入分の企業債残高の削減)	△10%
③	水洗化の普及	接続率の向上	+4 億 2,600 万円
④	その他		
	公民連携の推進	包括委託業務の拡大	—
	広域化・共同化	施設の共同設置、事務の広域的処理等の検討	—
	未収金解消	包括委託の継続及び支払い方法の拡充等の検討	—

オ 財政計画表

別紙図表 2-2 のとおり

図表 2-1 年度別事業計画表

(事業費:百万円)

計画		前期計画期間										前期計		後期計画期間										後期計		10箇年計	
		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度				令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度		令和12年度					
区分		事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費
1	管きよ整備事業		415.0		403.8		325.6		313.0		285.0		1,742.4		158.0		136.0		258.0		254.0		234.0		1,040.0		2,782.4
	1 汚水管きよ	56.9ha	154.0	1.5ha	144.8	4.3ha	151.6	4.3ha	151.0	12.4ha	151.0	79.4ha	752.4	15.8ha	65.0	0.0ha	65.0	11.4ha	65.0	0.0ha	65.0	19.2ha	65.0	46.4ha	325.0	125.8ha	1,077.4
	1 枝線管きよ	56.9ha	154.0	1.5ha	144.8	4.3ha	151.6	4.3ha	151.0	12.4ha	151.0	79.4ha	752.4	15.8ha	65.0	0.0ha	65.0	11.4ha	65.0	0.0ha	65.0	19.2ha	65.0	46.4ha	325.0	125.8ha	1,077.4
	2 雨水管きよ	492m	261.0	416.0m	259.0	355.0m	174.0	398.0m	162.0	165.0m	134.0	1,826.0m	990.0	141.0m	93.0	155.0m	71.0	214.0m	193.0	161.0m	189.0	163.0m	169.0	834.0m	715.0	2,660.0m	1,705.0
	1 幹線管きよ	0m	0.0	0.0m	0.0	0.0m	0.0	0.0m	0.0	0.0m	0.0	0.0m	0.0	0.0m	10.0	0.0m	15.0	76.0m	145.0	74.0m	161.0	73.0m	140.0	223.0m	471.0	223.0m	471.0
	2 枝線管きよ	492.0m	261.0	416.0m	259.0	355.0m	174.0	398.0m	162.0	165.0m	134.0	1,826.0m	990.0	141.0m	83.0	155.0m	56.0	138.0m	48.0	87.0m	28.0	90.0m	29.0	611.0m	244.0	2,437.0m	1,234.0
2	管きよ耐震化・更新事業	1,293.0m	159.6	400.0m	101.6	1,562.0m	231.6	1,515.0m	232.6	1,593.0m	301.1	6,363.0m	1,026.5	2,475.0m	377.1	2,475.0m	383.1	2,475.0m	401.2	2,480.0m	396.1	2,400.0m	209.1	12,305.0m	1,766.6	18,668.0m	2,793.1
	1 汚水管きよ	1,273.0m	113.6	400.0m	86.6	1,487.0m	107.6	1,440.0m	88.6	1,518.0m	137.1	6,118.0m	533.5	2,400.0m	209.1	2,400.0m	209.1	2,400.0m	209.1	2,400.0m	209.1	2,400.0m	209.1	12,000.0m	1,045.5	18,118.0m	1,579.0
	1 幹線管きよ	873.0m	39.0	0.0m	12.0	1,087.0m	33.0	1,040.0m	14.0	834.0m	53.0	3,834.0m	151.0	1,000.0m	35.0	1,000.0m	35.0	1,000.0m	35.0	1,000.0m	35.0	1,000.0m	35.0	5,000.0m	175.0	8,834.0m	326.0
	2 枝線管きよ	400.0m	74.6	400.0m	74.6	400.0m	74.6	400.0m	74.6	684.0m	84.1	2,284.0m	382.5	1,400.0m	174.1	1,400.0m	174.1	1,400.0m	174.1	1,400.0m	174.1	1,400.0m	174.1	7,000.0m	870.5	9,284.0m	1,253.0
	2 雨水管きよ	20.0m	46.0	0.0m	15.0	75.0m	124.0	75.0m	144.0	75.0m	164.0	245.0m	493.0	75.0m	168.0	75.0m	174.0	75.0m	192.1	80.0m	187.0	0.0m	0.0	305.0m	721.1	550.0m	1,214.1
	1 幹線管きよ	20.0m	46.0	0.0m	15.0	75.0m	124.0	75.0m	124.0	75.0m	124.0	245.0m	433.0	75.0m	124.0	75.0m	124.0	75.0m	124.0	80.0m	132.0	0.0m	0.0	305.0m	504.0	550.0m	937.0
2 枝線管きよ								20.0		40.0	0.0m	60.0		44.0		50.0		68.1		55.0			0.0m	217.1	0.0m	277.1	
3	施設耐震化・更新事業		247.6		703.6		297.0		123.0		195.0		1,566.2		591.3		272.9		770.8		105.0		250.6		1,990.6		3,556.8
	1 処理場(汚水)		222.6		678.6		272.0		98.0		170.0		1,441.2		566.3		247.9		745.8		80.0		225.6		1,865.6		3,306.8
	1 施設(耐震)		4.0		15.6		0.0		53.0		57.0		129.6		126.6		100.0		170.0		40.0		170.0		606.6		736.2
	2 設備(更新)		218.6		663.0		272.0		45.0		113.0		1,311.6		439.7		147.9		575.8		40.0		55.6		1,259.0		2,570.6
	2 鶴巻中継ポンプ場(汚水)		15.0		15.0		15.0		15.0		15.0		75.0		15.0		15.0		15.0		15.0		15.0		75.0		150.0
3 大根川ポンプ場(雨水)		10.0		10.0		10.0		10.0		10.0		50.0		10.0		10.0		10.0		10.0		10.0		50.0		100.0	
4	流域下水道事業等建設負担金		100.1		53.6		48.8		46.3		46.4		295.2		45.3		45.7		43.5		42.6		43.5		220.6		515.8
	1 酒匂川流域下水道(汚水)		2.2		3.3		3.3		2.6		4.6		16.0		4.2		6.5		4.3		3.4		4.3		22.7		38.7
	2 伊勢原市事務委託(汚水)		97.9		50.3		45.5		43.7		41.8		279.2		41.1		39.2		39.2		39.2		39.2		197.9		477.1
5	災害対策整備事業							1基	25.0			1基	25.0			1基	25.0					1基	25.0	2基	50.0	3基	75.0
	1 非常用自家発電設備整備(汚水)							1基	25.0			1基	25.0			1基	25.0					1基	25.0	2基	50.0	3基	75.0
計			922.3		1,262.6		903.0		739.9		827.5		4,655.3		1,171.7		862.7		1,473.5		797.7		762.2		5,067.8		9,723.1
内訳	汚水		605.3		978.6		595.0		423.9		519.5		3,122.3		900.7		607.7		1,078.4		411.7		583.2		3,581.7		6,704.0
	雨水		317.0		284.0		308.0		316.0		308.0		1,533.0		271.0		255.0		395.1		386.0		179.0		1,486.1		3,019.1



図表 2-2 財政計画表

		前 計 画 期 間 (5年間)					前期 使用料算定期間 【平均改定率 0%】					中期 使用料算定期間 【平均改定率 5%UP】					後期 使用料算定期間 【平均改定率 5%UP】					
年 度		28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (決算)	元年度 (決算)	2年度 (決算見込)	28~2年度計	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	3~7年度計	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	8~12年度計	3~12年度計		
汚水	収益的収支(税抜)	収入																				
		下水道使用料 (接続率向上による効果額) ※平均改定率	2,008	2,101	2,112	2,083	2,055	10,359	2,047 (9)	2,059 (18)	2,176 (27)	2,199 (35)	2,196 (43)	10,677 (132)	2,192 (50)	2,301 (55)	2,286 (59)	2,278 (63)	2,269 (67)	11,326 (294)	22,003 (426)	
		【コロナによる影響】当初見込収益 使用水量減による影響額					2,088 △33		2,069 △22	2,070 △11												
		受託事業収益	36	34	36	28	35	169	28	28	28	28	28	140	28	28	28	28	28	28	140	280
		他会計補助金等(繰入金)	1,598	1,601	1,571	1,434	1,404	7,608	1,249	1,192	1,175	1,148	1,116	5,880	988	888	897	897	870	4,540	10,420	
		うち基準内	1,591	1,595	1,061	961	1,211	6,419	1,049	992	975	948	916	4,880	888	888	897	897	870	4,440	9,320	
		うち基準外	7	6	510	473	193	1,189	200	200	200	200	200	1,000	100	0	0	0	0	100	1,100	
	長期前受金戻入	927	944	896	873	885	4,525	860	838	833	831	820	4,182	807	804	798	784	758	3,951	8,133		
	その他収益	99	119	73	68	62	421	68	67	68	69	69	341	67	68	69	68	68	340	681		
	計(A)	4,668	4,799	4,688	4,486	4,441	23,082	4,252	4,184	4,280	4,275	4,229	21,220	4,082	4,089	4,078	4,055	3,993	20,297	41,517		
	支出																					
	管きょ維持管理費(計画保全)	83	81	101	76	95	436	96	85	89	92	91	453	87	91	99	95	102	474	927		
	施設維持管理費(計画保全) (B-DASH効果額)	560 (△50)	562 (△50)	566 (△50)	604 (△50)	705 (△50)	2,997 (△250)	699 (△40)	703 (△40)	705 (△40)	708 (△40)	711 (△40)	3,526 (△200)	714 (△40)	717 (△40)	721 (△40)	724 (△40)	727 (△40)	3,603 (△200)	7,129 (△400)		
	小計	643	643	667	680	800	3,433	795	788	794	800	802	3,979	801	808	820	819	829	4,077	8,056		
	人件費	191	201	200	169	182	943	172	172	165	165	165	839	165	165	165	165	165	825	1,664		
受託事業費	29	27	30	25	32	143	25	25	25	25	25	125	25	25	25	25	25	125	250			
減価償却・除却費	2,096	2,152	2,079	2,036	2,202	10,565	2,034	2,017	2,042	2,058	2,054	10,205	2,044	2,060	2,061	2,063	2,019	10,247	20,452			
企業債支払利息	581	545	497	452	419	2,494	365	324	288	254	222	1,453	195	172	150	130	112	759	2,212			
その他費用	399	457	394	338	478	2,066	427	435	434	434	434	2,164	435	434	436	438	434	2,177	4,341			
計(B)	3,939	4,025	3,867	3,700	4,113	19,644	3,818	3,761	3,748	3,736	3,702	18,765	3,665	3,664	3,657	3,640	3,584	18,210	36,975			
汚水純損益(A)-(B)	729	774	821	786	328	3,438	434	423	532	539	527	2,455	417	425	421	415	409	2,087	4,542			
資本的収支(税込)	収入																					
	企業債	1,629	569	272	629	640	3,739	494	650	465	365	420	2,394	632	501	725	188	304	2,350	4,744		
	他会計補助金等(繰入金・基準内)	38	36	31	27	24	156	23	16	9	9	9	66	9	9	9	9	4	40	106		
	国庫補助金	684	102	20	326	190	1,322	126	349	153	68	118	814	295	137	385	52	125	994	1,808		
	受益者負担金等	38	22	15	13	18	106	4	5	4	6	8	27	7	4	3	3	3	20	47		
	その他収入	0	23	1	1	8	33	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2		
	計(C)	2,389	752	339	996	880	5,356	649	1,020	631	448	555	3,303	943	651	1,122	252	436	3,404	6,707		
支出																						
建設改良費(施設整備計画)	1,892	574	305	923	867	4,561	605	979	595	424	519	3,122	901	608	1,078	412	583	3,582	6,704			
建設改良費事務費	42	42	32	33	37	186	35	35	35	35	35	175	35	35	35	35	35	175	350			
企業債償還金	1,843	1,774	1,773	1,772	1,772	8,934	1,758	1,699	1,671	1,681	1,567	8,376	1,477	1,398	1,314	1,279	1,124	6,592	14,968			
基金繰入金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	300	300	300			
その他支出	1	1	24	11	2	39	1	1	1	1	2	6	1	1	2	1	2	7	13			
計(D)	3,778	2,391	2,134	2,739	2,678	13,720	2,399	2,714	2,302	2,141	2,123	11,679	2,414	2,042	2,429	1,727	2,044	10,656	22,335			
汚水収支不足額(C)-(D)	△1,389	△1,639	△1,795	△1,743	△1,798	△8,364	△1,750	△1,694	△1,671	△1,693	△1,568	△8,376	△1,471	△1,391	△1,307	△1,475	△1,608	△7,252	△15,628			

汚水・雨水	補填財源残高	417	606	833	1,037	1,002	-	845	753	808	849	1,029	-	1,208	1,485	1,876	2,081	2,100	-
	企業債残高	34,961	33,513	32,111	31,089	29,981	-	28,661	27,514	26,254	24,890	23,709	-	22,777	21,772	21,183	20,079	19,022	-
	繰入金	2,105	2,133	2,134	2,060	2,031	-	1,762	1,692	1,653	1,625	1,592	-	1,463	1,362	1,367	1,366	1,329	-
	うち基準内	2,098	2,127	1,624	1,587	1,838	-	1,562	1,492	1,453	1,425	1,392	-	1,363	1,362	1,367	1,366	1,329	-
	うち基準外	7	6	510	473	193	-	200	200	200	200	200	-	100	0	0	0	0	-
	総収支比率	116.2%	117.0%	119.0%	119.7%	108.6%	-	109.5%	109.4%	111.9%	112.1%	111.9%	-	109.5%	109.7%	109.7%	109.6%	109.6%	-
	経費回収率	172.2%	93.7%	94.4%	95.2%	86.5%	-	92.2%	92.6%	97.7%	98.2%	98.1%	-	98.0%	102.8%	102.7%	102.6%	102.6%	-
	企業債残高対事業規模比率	813.1%	598.8%	569.6%	635.6%	488.7%	-	517.0%	509.7%	466.8%	446.0%	432.2%	-	421.5%	382.6%	367.8%	348.6%	334.1%	-
	接続率	86.6%	87.1%	87.7%	88.2%	88.7%	-	89.3%	89.8%	90.3%	90.8%	91.2%	-	91.6%	91.9%	92.2%	92.5%	92.7%	-
	管きょ耐震化率	52.6%	53.7%	54.1%	54.2%	54.9%	-	55.2%	55.2%	55.5%	55.8%	56.1%	-	56.4%	56.6%	56.9%	57.2%	57.5%	-
	うち重要な管きょ	40.0%	60.7%	68.7%	70.7%	83.3%	-	87.1%	87.1%	91.8%	96.4%	100.0%	-	-	-	-	-	-	-
	管きょ更新率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-	4.1%	8.6%	8.9%	7.6%	10.4%	-	15.6%	18.7%	20.7%	24.8%	23.8%	-
上下水道局職員数(公共下水道事業会計)	36人	38人	37人	36人	35人	-	35人	35人	34人	34人	34人	-	34人	34人	34人	34人	34人	-	





年 度		前 計 画 期 間 (5年間)					前 期 財 政 計 画 期 間 (5年間)					後 期 財 政 計 画 期 間 (5年間)					単 位 : 百 万 円				
		28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (決算)	元年度 (決算)	2年度 (決算見込)	28~2年度計	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	3~7年度計	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	8~12年度計	3~12年度計	
雨水	収益的 収支 (税抜)	収入																			
		受託事業収益	30	28	27	37	46	168	37	37	37	37	37	185	37	37	37	37	37	185	370
		他会計補助金等(繰入金・基準内)	456	458	494	545	592	2,545	482	479	469	468	467	2,365	466	465	461	460	455	2,307	4,672
		長期前受金戻入	193	199	200	202	207	1,001	209	209	210	210	209	1,047	208	207	203	203	199	1,020	2,067
		その他収益	4	3	3	4	3	17	4	4	4	4	4	20	5	4	5	5	5	24	44
	計(E)	683	688	724	788	848	3,731	732	729	720	719	717	3,617	716	713	706	705	696	3,536	7,153	
	支出																				
	管きょ維持管理費(計画保全)	30	15	22	23	26	116	29	29	22	22	23	125	23	23	24	24	24	24	118	243
	施設維持管理費(計画保全)	21	23	31	21	31	127	26	27	27	27	27	134	27	28	27	28	29	29	139	273
	小計	51	38	53	44	57	243	55	56	49	49	50	259	50	51	51	52	53	53	257	516
	人件費	6	10	14	38	39	107	38	38	38	38	38	190	38	38	38	38	38	38	190	380
	受託事業費	30	28	27	37	46	168	37	37	37	37	37	185	37	37	37	37	37	37	185	370
	減価償却・除却費	448	463	467	472	501	2,351	503	507	513	518	521	2,562	525	526	524	527	522	522	2,624	5,186
	企業債支払利息	129	121	117	112	110	589	95	87	79	73	67	401	62	57	52	47	42	42	260	661
	その他費用	4	5	3	4	5	21	4	4	4	4	4	20	4	4	4	4	4	4	20	40
	計(F)	668	665	681	707	758	3,479	732	729	720	719	717	3,617	716	713	706	705	696	3,536	7,153	
	雨水純損益(E)-(F)	15	23	43	81	90	252	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	資本的 収支 (税込)																				
	収入																				
企業債	178	57	419	446	355	1,455	299	255	300	320	327	1,501	281	257	366	364	145	1,413	2,914		
他会計補助金等(繰入金・基準内)	13	38	38	54	11	154	8	5	0	0	0	13	0	0	0	0	0	0	13		
国庫補助金	78	64	146	163	48	499	36	45	26	15	0	122	7	13	45	45	44	154	276		
計(G)	269	159	603	663	414	2,108	343	305	326	335	327	1,636	288	270	411	409	189	1,567	3,203		
支出																					
建設改良費(施設整備計画)	664	270	554	715	362	2,565	317	284	308	316	308	1,533	271	255	396	386	179	1,487	3,020		
【コロナによる影響】当初見込支出 執行停止額					374 △12																
建設改良費事務費	49	51	47	37	30	214	26	26	26	26	26	130	26	26	26	26	26	26	130		
企業債償還金	312	299	320	325	330	1,586	356	351	353	368	360	1,788	367	364	367	377	382	1,857	3,645		
計(H)	1,025	620	921	1,077	722	4,365	699	661	687	710	694	3,451	664	645	789	789	587	3,474	6,925		
雨水収支不足額(G)-(H)	△ 756	△ 461	△ 318	△ 414	△ 308	△ 2,257	△ 356	△ 356	△ 361	△ 375	△ 367	△ 1,815	△ 376	△ 375	△ 378	△ 380	△ 398	△ 1,907	△ 3,722		